

こっこめ通信 10 2012

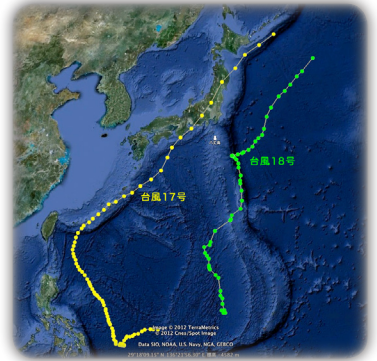
「家族で頑張れ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

9月に入って発生した3つの台風はすべて日本に近づいてきました。その中でも18・17号は八丈島に近づくのでは？と毎日ヒヤヒヤものでした。最終的には両台風ともに影響はそれほど無く、ホッとしています。でも、台風の季節はまだまだ続きます。あと何回ヒヤヒヤすればいいのでしょうか？

さて今回は、「マガンファミリー来島中」「ビジターセンターの水槽をさらに楽しむ方法」のお話です。



マガンファミリー来島中

9月28日、植物公園のメインエントランス下にある大賀郷園地でマガンが4羽確認されました。翌日の30日には1羽増え、5羽になりました。5羽のうち、2羽はクチバシの付け根が白く、お腹の横斑が目立つので成鳥、この特徴のない3羽はこの夏に産まれた幼鳥です。お父さんとお母さん、そして3羽の子供たちで5人家族といった感じでしょうか？遅れて合流したのはお父さんかな？



オスメスの外見上の特徴は無いようなので分かりませんが…仕草を見て勝手に家族構成を考えてみました



おとうさん？



おんなのこ？



おとこのこ？



おんなのこ？



おかあさん？



みんな食用旺盛です

八丈島でマガンが確認されたのは1999年以降のことになります。その時は、7羽で2週間ほど滞在した記録が残っています。今回は島の東側を北上した台風18号からの北東の強風に乗ってしまったのでしょうか。

ねぐらは、三原山側の池でしょうか？朝から夕方までの間は大賀郷園地にやってきて、毎日毎日、食事をしています。そのうち元気が出て、家族みんなで越冬地へ元気に飛び立っていくことでしょう。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

ビジターセンターの水槽をさらに楽しむ方法

ビジターセンターで水槽展示を始めてもう10年が過ぎました。「探すといろいろな生きものが見つかる！」をコンセプトに、見た方にもう一度見に来たいと思っていただける水槽を目指しています。また、毎日の飼育と観察、そして1ヶ月に1回、水槽の生きものやレイアウトを少し変更しています。

こっこめ通信でも過去に「ビジターセンターの水槽を10倍楽しむ方法」として、おもしろい水槽の生きものたちを紹介しました。今回はさらに水槽の生きものを楽しめるネタを紹介しましょう！これさえ知っていれば水槽の中の生きものが見方が変わってくるかもしれません。是非ビジターセンターの水槽を見におじゃれ！

ルソンヒトデのその後…

2011年2月のこっこめ通信で、1匹だったルソンヒトデ（写真下左）が、3本の脚を自切したことを紹介しました（写真下中）。そのルソンヒトデの飼育も3年目に入りました。さてその後、ルソンヒトデはどうなったのでしょうか？

現在、自切された脚たちはすっかりとヒトデの形になり、さらにそれぞれが自切を繰り返しています。岩の下などにも入り込んでいてすべて探し出せなかったのですが、探し出せたものを並べて撮影してみました（写真下右）。1番大きなものが最初に採集してきた個体で、そのヒトデを合わせて、ヒトデの形をしたものが4匹と脚だけのものが数匹です。すべてクローンだと考えるとすごいですね。水槽を見に来た時は、いったい何匹いるか数えてみてください。月日が経てばさらに増えているかもしれませんよ。



初めの姿



分裂した姿



現在の姿

実はスリムなモクズショイ…

昼間はジッとして動かないモクズショイ。体中にあるカギ状の毛にカイメンや海藻などを付着させ、カモフラージュしているの、水槽の中ではとても見つけにくい生きもののひとつです。モクズショイは脱皮をして成長します。脱皮をするとカモフラージュに付けているカイメンなども一緒に脱がなければなりません。本当のモクズショイは実はとても細い脚をしているのです（写真右）。モクズショイのスリムな姿を想像しながら、水槽の中を探してみてください。



カモフラージュした姿



本当のスリムな姿

三宅テグリと小湾テグリ…

水槽の中の一番人気の魚！でも水底を歩いているようにも見えるので、初めは魚と思われなことが多いですね。実は水槽の中には、ミヤケテグリとコウワンテグリの2種類が入っています。ミヤケテグリは体が赤っぽいので見つけやすいですが、コウワンテグリは茶色っぽくて目立ちません。背ビレでオスとメスが分かるのですが、ミヤケはメス、コウワンはオス。初めは仲が悪かった2匹ですが、今ではケンカもしなくなりました。禁断の恋に発展してしまうのでしょうか？



コウワンテグリ



ミヤケテグリ

見られたらラッキー？

「探せば見つかる」水槽ですが、探してもあまりお目に掛かれない生きものもたくさん入っています。もしかして、そんな生きものが見つかったらその日はラッキー？な日なのかもしれませんよ。ガンバって探してみてくださいはどうか？



スナモグリ



ソウグタケ



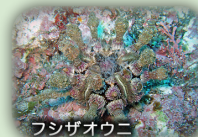
ヒシメンコガニ



ユムシの仲間



アカシマモエビ



フシザウニ

ここでは紹介しきれない事がたくさんあります。解説員をつかまえて聞いてみよう！

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は9月9日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成24年第9回) 参加者:石渡、沖山、金田、VC 菊池

NO.	和名(島名)	状態	NO.	和名(島名)	状態	NO.	和名(島名)	状態
草本			36	ノシラン	花	20	モチノキ	実
1	アオツツラフジ	実	37	ハチジョウアザミ	花	21	ヤブツバキ	実
2	アオノクマタケラン	実	38	ハチジョウイタドリ	花	22	ヤブニッケイ	実
3	アシタバ	花と実	39	ハチジョウシュスラン	咲き始め	シダ植物		
4	イガガヤツリ	花と実	40	ヒナギキョウ	花と実	1	イシカグマ	
5	イヌザンショウ	実	41	ヒメクグ	実	2	イノモトソウ	
6	イワニガナ	花	42	ブラジルコミカンソウ	花と実	3	オオイタチシダ	
7	ウスベニニガナ	花	43	ヘクソカズラ	花	4	オオタニワタリ	
8	ウラジロチチコグサ	実	44	ホソバツルメヒシバ	実	5	オクマワラビ	
9	ウリクサ	花	45	ママコノシリヌグイ	花	6	オニヤブソテツ	
10	エノキグサ	花	46	メヒシバ	花と実	7	カニクサ	
11	オオアレチノギク	花	47	ヤハズソウ	花	8	タチシノブ	
12	オオニシキソウ	花と実	48	ヤブマオ	花	9	タマシダ	
13	オオハマグルマ	花と実	49	ヤマカモジグサ	実	10	ナチシケシダ	
14	オニタビラコ	花と実	50	ヨモギ	蕾	11	ナンカイイタチシダ	
15	オヒシバ	実	木本			12	ノキシノブ	
16	カヤツリグサ	実	1	アカメガシワ	実が残る	13	ハチジョウカナワラビ	
17	カラムシ	花	2	イヌビワ	実	14	ハチジョウシダ	
18	クグ	実	3	エノキ	実	15	ハチジョウベニシダ	
19	クグガヤツリ	実	4	オオバヤシャブシ	実	16	ヒトツバ	
20	クズ	花、盛り	5	オオムラサキシキブ	実	17	ホシダ	
21	コゴメガヤツリ	花	6	ガクアジサイ	実	18	ホラシノブ	
22	コシロノセンダングサ	花と実	7	カラスザンショウ	実	19	マメツタ	
23	コニシキソウ	花と実	8	サカキカズラ	蕾	20	ミゾシダ	
24	コミカンソウ	花と実	9	シチトウエビヅル	花と実	21	ヤマイタチシダ	
25	コメヒシバ	花と実	10	シマクサギ	花	22	ワラビ	
26	シマスズメノヒエ	実	11	スダジイ	実の虫こぶ	今回はシダ植物22種を含む94種の植物を観察しました。カヤツリグサ科の花や実、樹木の実が目立ち、秋本番を感じさせる調査会になりました。		
27	センニンソウ	花、盛り	12	タイミンタチバナ	実			
28	タケダグサ	花と実	13	テイカカズラ	実			
29	タチスズメノヒエ	実	14	トベラ	実			
30	チヂミザサ	咲き始め	15	ハゼノキ	実			
31	チャガヤツリ	実	16	ハチジョウキブシ	実			
32	ツユクサ	花	17	ヒサカキ	実			
33	ツルボ	花	18	ヒメユズリハ	実			
34	テンツキ	実	19	ホルトノキ	実			
35	ニガカシュウ	ムカゴ						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、周辺海域で見られる「キビレマツカサ」にスポットを当ててみたいと思います。



キビレマツカサ *Myripristis chryseres*

イトウダイ科の魚類。分布は土佐湾以南の太平洋域。

他の地域では深場に生息しているため、あまり見られないようですが、八丈島では潮通しのいい水深20m以深で普通に見られます。

赤い体に背ビレ・尻ビレ・腹ビレ・尾ビレがすべて黄色いので他の魚と見分けが付きやすいです。深い場所では何十匹の群れで見られることもあります。八丈島らしい魚のひとつです。

2012 八丈ビジターセンター 10 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 ガイドウォーク
	05:35 11:28 17:24 23:42	06:10 11:55 17:47	06:45 00:12 18:10 12:22	07:21 00:44 18:33 12:48	07:59 01:17 18:57 13:13	08:42 01:54 19:21 13:41
7 ガイドウォーク	寒露 8 ガイドウォーク	9	10	11	12	13 ガイドウォーク
09:38 02:37 19:48 14:14	11:05 03:35 20:28 15:17	12:58 04:55 22:45 18:24	06:27 00:04 14:02	01:08 07:41 14:38 20:42	02:21 08:36 15:08 21:15	03:15 09:21 15:36 21:48
14 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	● 15	16	17	18	19	20 ガイドウォーク
04:03 10:02 16:05 22:22	04:49 10:41 16:33 22:58	05:36 11:18 17:03 23:35	06:23 11:55 17:34	07:13 00:15 18:06 12:32	08:05 00:58 18:40 13:10	09:03 01:45 19:18 13:53
21 ガイドウォーク 秋の特別行事 「八丈富士裾野 ハイキング」	☾ 22	霜降 23	24	25	26	27 ガイドウォーク 八丈学講座 「沢の小径植物観察会」
10:11 02:38 20:03 14:49	11:34 03:43 21:17 16:27	12:55 05:06 23:38 18:41	06:37 00:04 13:50 19:59	01:35 07:50 14:28 20:43	02:46 08:44 14:59 21:18	03:36 09:26 15:27 21:49
28 ガイドウォーク	29	○ 30	31			
04:18 10:02 15:53 22:18	04:55 10:35 16:18 22:48	05:30 11:05 16:44 23:18	06:04 11:34 17:09 23:48			

この色の日は
特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
10/14（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

全国自然歩道を歩こう月間

「八丈富士裾野ハイキング」

全国自然歩道を歩こう月間に合わせたハイキング、今年も八丈富士の裾野を歩きます。
10/21（9:30～ 約6時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円（保険・交通費） 定員：20名

八丈学講座

「沢の小径植物観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、中之郷にある沢の小径周辺で秋の植物を観察します。
10/27（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
えこ・あぐりまーと集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2012.10.1 第137号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

こっこめ通信の発行が遅れてしまい申し訳ありませんでした。今後このようなことのないようにいたします。（高）